



言語についての方針

Language Policy



幼保連携型認定こども園

大利根育英幼稚園

目次

中村学園の使命と教育理念	1
言語についての方針とねらい	2
言語習得のための具体的な方法	3
母語について	3
英語教育の目標	4
言語の学習領域及び目標	5
探究のためのリソース	9
参考文献	9
更新	9

《Mission statement・育英の使命》

育英＝天下の英才を育てる

！人！人がもつ能力、才能を見出し、その才能を活かし育てます

他者との違いを認め受け入れ、自分も他者も大切に、感謝の気持ちと共感する心を持ちながら、自己の探究心を掘り下げます。そして、平和でより良い地球と共存するために、国際的視野を拡げ、学び挑戦し続ける子どもに育成します。

《中村学園の教育理念》

「明るく」

明るい挨拶ができ、自信をもって自分自身を表現する

友達と楽しく遊び、協力しながら新しいことに挑戦する

好奇心と探究心を持ち熱意をもって学ぶ

「正しく」

人がもつ違いを理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれ正しさがあると認める

人に共感できる心と思いやりの心をもつ

正義感と自分の考えの軸をもつ

「健やかに」

身心ともにたくましく生きる力をもつ

自然に親しみながら豊かな感性をみがき、この地球と共存する意識をもつ

安全で栄養価の高い物を食べる（オーガニック給食）

「学ぶ」

知っていることや学んだことを使い、世の中の役に立つために行動する

よりよい行動につながるようによく考えたり、新しいアイデアを考える

もっと良くなるための方法を見つけ、行動に移す気持ちをもつ

《言語についての方針とねらい》

言語とは、人間が平和な世界を築くために必要な最も重要なツールです。中村学園は、学園の教育方針を軸に IB が掲げる学習者像を通しての言語学習を方針として掲げ、子ども達が、他者との違いを認め受け入れ、自分も他者も大切に感謝の気持ちを持ちながら、自己の探究心を掘り下げ、世界に羽ばたくために挑戦できることを目標に学びをサポートします。

全ての教師が言語教師であり、子ども達が日々の活動や日常の会話の中で自然に言語習得できるように、園生活における全ての場面において、より良い言語指導を意識し、学習環境を構築していくことを共通認識します。

【明るく】・・・コミュニケーション、挑戦、探究

基本的な挨拶から言語を用いて自己を表現することを学び、他者とコミュニケーションをとることで、社会性を身に付ける。共通理解と共同のための方法としての言語を、好奇心をかき立てる挑戦や探究活動から獲得していく。

【正しく】・・・心を開く、思いやり、信念

自分の信念を他者に伝える手段として言語を用い、更に誰にでも開かれたインクルーシブなものとして、平等な学習参加を実現するために他者の思いを言語や非言語的表現（ボディーランゲージや雰囲気など）により理解し受け止め、共感と思いやりなどの感情を表現する。

【健やかに】・・・バランス

自分が何者であるかを探究し、自己の本質（心）物質（身体）と知性（言語）の三つのバランスを取り、心の中の感情や思い、考えを言語化することにより、気づきを明確にし、表現したり行動に移すことができる。

【学ぶ】・・・知識、考える、振り返り

知識を得るために必要な言語を習得し、批判的思考により、新しいアイデアを考えたり、世の中で役に立つような行動を考える。更に自己を観察し振り返りを言語で表現することにより客観的気づきを得て、よりよい行動のために自身の世界を拓けることができる。

《言語習得のための具体的な方法》

- 生活の基本となる母語の習得（挨拶・発表する・日常会話）を大切にします。
- 身近な人から他国の言語や文化についての話を聞き、自分達との文化の違いを知り、学びます。
- アート、音楽、ダンスなど、言葉以外の多様な表現方法があることを学びます。
- 日々の生活の中で、自分の思いや考えたことを伝え、理解し合いながら会話を楽しみます。
- 絵本に親しみ、ストーリーを楽しみながら、言葉の意味を理解します。
- 絵本や掲示物から文字や絵に興味を持ち、書いて表現することを楽しみます。
- 本（図鑑、月刊誌）や身近な人（家族や教師、友人、地域の人）から情報を得ることができます。
- 様々な探究を通して、自分の思いや考えを人前で自信を持って発表したり、友だちの発表を聞いたりすることができます。
- 家族や教師、友人、地域の人々とのコミュニケーションを通して、話すことと聞くことの大切さや楽しさを学びます。
- 遊びが言語習得のハブとなり、他者（友だちや教師など）とのコミュニケーションや感情表現、また様々な学びを通して共感したり、挑戦したり、探究することによって、満足感や幸福感を得ます。

《母語について》

【通常クラスの子どもについての母語】

当園に入園する子どものお大半は、日本語を母語としており、それ以外の言語を母語とする子どもは少数に限られています。日本語以外の言語を母語とする子どもが入園した場合は、園での指導言語は日本語ですが、国籍が違う子ども達も安心して園生活を送れるよう、その子ども達や保護者の気持ちに寄り添い、多様性を受け入れ、コミュニケーションに重きを置き、信頼関係を築いていきます。

【英語クラスの子どもについての母語】

・クラス活動では英語を用いますが、課内活動（サッカー、体操）、行事、延長保育では、母語で活動します。

・探究活動の中で、子どもが英語では活動内容を理解できない状況の場合は、日本人教師が日本語でサポートし、取り組めるようにします。

・母語が日本語のご家庭では日本語を使うように徹底していただきます。

【外国籍の子どもの母語】

- 外国籍の子どもに対しては園でも母語に触れられるように、自分の国の本を持って来て読んだり、友だちに紹介したりします。
- 外国籍の保護者の方に園に来ていただいて、自分の国の文化（食べ物・歌・服装など）について、話をしてもらう機会を設けます。
- 保護者、通訳の人と面談を行い、当園の教育方針（IB）を説明します。
- おたよりを翻訳したり、必要なものの写真や実物を見せたりして、サポートします。
- 外国籍の子がいるクラスでは外国語の指示表記・名前を掲示し、また、それを使って外国籍の子と教師がコミュニケーションを取れるようにします。
- 挨拶や体調についての簡単な会話集を作成します。

《英語教育の目標》

英語教育は、将来を担う子ども達の未来の可能性、世界観を拓き、子ども達は学びを通して様々な出会いを経験します。当園の第一言語は日本語ですが、急速な世界のグローバル化が進む中、多人種の方々とコミュニケーションをとり、色々な文化や価値観、考え方に触れる上でも、英語の習得は大切になってきます。

人は様々な人とのつながりを通して、視野を拓き、新たな考え方を創出し、挑戦する気持ちや自主的に行動する力を持つことができます。それらの行動により、達成感や充実感、また、自己肯定感が高まり、幸福度が上がることで前向きに生きる原動力を生み出します。

これからの時代を生きる子ども達が、選択肢を拓き、より良い選択、自分に合った選択ができるよう、豊かな人間形成と知性を育み、安心安全で平和な世界を築くためには、幼児期からの国際的視野をもつ人間としての意識が必要であり、英語教育を通して、それを実現していきます。

【通常クラスの英語教育の特色】

- 年少以上の全ての学年で英語のレッスンを行います。
- 週に3~4回、10分~15分のレッスンが英語ネイティブ教師により行われますが、日本語教師がサポートします。
- 英語教師と日本人教師が協働し、子どもの興味関心、レベルに合ったプログラムを提供します。
- 英語参観を実施し、保護者に子どもの英語習得の進歩を見てもらう機会を設けます。

【英語クラスの英語教育の特色】

- 年少以上の全ての学年で1クラスずつ英語クラスを設けます。
- 英語ネイティブ教師と日本語教師が協働し、IBの探究活動を行います。
- 基本的に8:30~14:30の活動を英語で行います。
- 言語習得のみならず、生活と学びのあらゆる領域において、多様な視点を提供します。
- 全ての子ども達が、円滑なコミュニケーションができるよう、英語を主要な指導言語として採用し、必要に応じて日本語でサポートを行います。
- 保育参観を実施し、英語クラスの様子を保護者の方々に見ていただきます。また、英語教師立ち合いの元、日本人教師により保護者面談を実施します。

《言語の学習領域及び目標》

【通常クラス】		
口頭言語（聞くこと・話すこと）		
3 歳	4 歳	5 歳
生活に必要な挨拶を知り、徐々に自発的に行う。	自分から進んで挨拶ができるようになる。	挨拶を交わすことが心地良いと感じ、周囲と積極的にコミュニケーションを図る。
経験したこと感じたことを他者に伝えたり、聞いたりして共感する。	文章を組み立てて、経験したことや感じたことを分かりやすく伝える。	友だちの意見にも耳を傾け、自分と違う意見があることを知り、認め合う。
教師の話を理解し、行動する。	教師の指示を理解し、見通しを持って行動に移せる。	毎日の生活の流れを覚え、教師の指示がなくても自分で考えて行動することができる。
物や場所、自分の名前や身近な人の名前を知り、言葉のやり取りができる。	覚えた言葉を使い、自分の言葉で相手に伝えようとする。	目的や意見を含めた文章で、説明をすることができる。

視覚言語（見ること・発表すること）		
3 歳	4 歳	5 歳
クラスのマーク、自分のマークを覚え、生活の中で使用する。	身の回りにあるマークが何のためにあるのか疑問をもったり、共通点を見つけたりする。	身近な標識やマークの意味を理解し、行動に移すことができる。
絵本や図鑑の絵や写真を通して、感じたことや疑問に思ったことを教師に伝える。	絵本を見て自分の経験と結び付けたり、楽しかったページを友だちと共有したりする。	興味のある絵本や図鑑を自発的に読もうとする。
教師や友だちの遊びを見て、真似て遊び始める。	劇、紙芝居、ペープサート、絵本など、物語を伝える方法が沢山あることを知り、実際に人前で発表する。	自分の感情や経験したことを絵や写真、図表などを通じて発表する。
問い掛けに対して、身振り手振りを使ってコミュニケーションを取る。	遊びや生活の中で、表情・身振り手振りを見て、伝えたり読み取ったりする。	周りの様子やその人の表情を見て、状況や相手の気持ちを理解した上で行動する。
書記言語（読むこと・書くこと）		
3 歳	4 歳	5 歳
劇、紙芝居、ペープサート、絵本などの読み聞かせを通して、物語を聞くことを楽しんだり、イメージができるようになったりする。	絵本や図鑑を見て文字に興味を持ち、知っている文字を読もうとする。	身の回りのマークや文字でメッセージを読み取り、それに合わせた行動をしようとする。
分かりやすい繰り返しの言葉を使い、対象物を理解し、イメージしながら表現して描く。	繰り返しの文字やリズムのある言葉を使って、友だちと言葉遊びを楽しむ。	歌の情景を読み取り、思ったことや感じたことを思い思いに文字や絵で表現する。
クレヨン、絵の具、ペン等を使って、紙いっぱいに描く。	読める文字や数字、記号を日常生活の中から見つけ、自然に声に出して読んでみる。	自分の考えを絵や文字を使って記録する。
描いたものを周りの人に認めてもらう経験をさせる。	文字に興味を持ち始め、実際に書こうと挑戦してみる。	様々な文字に興味を持ち、何と書いてあるのか予測したり、真似して書いてみたりする。

絵や文字で、相手に自分の気持ちが伝えられることを知る。	自分の気持ちを込めて、絵や文字を書くことに挑戦してみる。	自分の考えや気持ちを込めた絵や文字で、相手にメッセージを伝える。
文字に興味を示し、形や読み方を知る。	文字の形と読み方とを結び付けながら覚える。	文字が組み合わせられることで、意味がもたらされると気付き、理解しながら読む。

【英語クラス】※通常クラスの言語学習目標に加えて以下を目標とする		
口頭言語（聞くこと・話すこと）		
3 歳	4 歳	5 歳
口頭での1~2ステップの指示に従う。(必要に応じて、講師が補助) 例 Please circle the sun. ・アルファベットの音に慣れ親しむ。 ・丁寧な英語で返答する。	口頭での3ステップの指示に従う。 例 Please circle the sun, written and trace. 挨拶や丁寧な言葉で、自分から進んでコミュニケーションを取る。	口頭での何段階がある指示に従う。 身近な話、経験などについて英語で話そうとする。(例 週末どんなことをしたか他)
簡単な曲を歌いながら、単語を真似て話す。	簡単な詩を暗唱、英語の曲を歌う。	簡単な詩を暗唱、英語の曲を歌う。簡単に覚えることができ、クラスで習った曲を覚える。
Iの意味を理解し、名前、年齢、性別を言う。	質問に対して、“Yes, I do.” Or “No, I don’t.”を使って答える。	自分のことについて話せる。(例 好きな物、嫌いな物他)
はい/いいえで答える質問に答える。	氏名、誕生日、両親の名前を言う。	望んでいる事や感情を、4~5単語程度を使って話す。
月間トピックに関連した単語を覚える。 (トピック:色、形、体の部位、気持ち、動詞①、家族、くだもの、野菜、食べ物、飲み物、動物他)	日常で使う簡単な表現や文章を使って英語を話す。	英語の簡単な文章を理解し、使う。 ・自己紹介 ・指示に従う ・who, what, where の質問に答える。

	講師や、他の生徒の話す、基礎的な英語を使ったお話や質問を理解する。	月間トピックに関連した単語をより多く覚える。 (容姿、動詞②、家電、道具、環境、アクティビティ、お店や施設、教科)
	月間トピックに関連した単語を覚える。(衣服、場所、交通手段、自然、職業、家、部屋、おもちゃ、遊び場)	様々な場面で英語を使ってコミュニケーションを取れる。
視覚言語 (見ること・発表すること)		
3 歳	4 歳	5 歳
視覚テキストに関連する用語を聞き、理解する。(色、形等)	ボディーランゲージを使って、アイデアや感情を表現する。	視覚テキストが示す情報について、自分の気持ちを話す。
視覚テキスト(マーク、シンボル)と自分の名前の頭文字を認識する。	ラベル、サイン、ポスター、絵本等の視覚テキストが伝える情報を読み取り、質問に答えることができる。	視覚テキストに関連した英語を聞いてその意味を理解する。
ジェスチャー、表情、言葉などあらゆる方法を使い、簡単に自分の気持ちを表現する。	絵本の中のキャラクターと自分の経験を結び付ける。	他者とジェスチャー、表情などのボディーランゲージを使いコミュニケーションを取る。
書記言語 (読むこと・書くこと)		
3 歳	4 歳	5 歳
英語の絵本の読み聞かせを楽しむ。	名前を書く。	自分一人で氏名を書く。
アルファベットに興味を示し、いくつかの文字を読む。	講師の最小限の補助で大文字、小文字を真似て書く。	正しく文字を認識する。
名前をなぞる。	簡単な絵を描く。	アルファベット3文字からなる単語を読み始める。
文字と数字をなぞる。	文字と音の関係を知る。	CVC の単語を使った簡単な絵本を読む。
名前の頭文字を認識する。		講師の補助のもとで簡単な文章が書ける。

《探究のためのリソース》

- 本園は、学年毎に絵本コーナーが設置されており、各ユニットの探究活動に必要な絵本や図鑑、子ども新聞、写真集、紙芝居などを子ども達が好きな時に、いつでも使えるようになっています。また、子どもの興味関心に合わせて、新しい図書を定期的に購入し、子ども達の探究活動の充実を図ったりします。3か月ごとに市立図書館より、様々なジャンルの絵本や紙芝居などを100冊借り、多くの情報リソースに触れる機会を設けています。
- 身の回りの人(教師・友だち・保護者・地域の人・課外(内)活動の教師など)との関わりを通して、様々な情報を得ることができます。
- 園での農業体験や遠足、園行事、園の施設、また、それ以外の様々な施設を利用することで、より良い探究活動を進めていくことができます。
- 各学年に iPad を置き、子ども達がいつでもインターネットにアクセスし、調べることができます。

《参考文献》

- IB プログラムにおける「言語」と「学習」
- PYP 学習者
- PYP 学習コミュニティー
- PYP 学習と指導
- キッズ大陸よこはま中川園
- 若草幼稚園
- AOBA-JAPAN INTERNATIONAL SCHOOL

《更新》

この言語方針は2年に一回、年度末に改訂し、学校コミュニティーに周知します。

初 版 2023 年 11 月 8 日

最終更新日 2024 年 12 月 3 日